

『国士館人文科学論集』規程

編集規程

1. 本誌は、国士館大学大学院人文科学研究科の機関誌であり、本研究科教員、在学生、および編集委員会の承認を得た者の研究論文、その他研究に関連する記事を電子データとして大学のウェブサイト上に掲載するものである。
2. 編集委員会は、研究科長および科長の委嘱を受けた委員によって構成する。
3. 原稿の掲載は、査読規程に従い、審議を経て決定する。
4. 掲載予定の原稿について編集委員会は、執筆者との協議を通じ、内容の修正を求めることがある。
5. 編集委員会は、必要により特定の個人または団体に対して原稿の依頼を行うことができる。
6. 執筆による校正は、再校までとする。その際の内容の修正は、原則として認められない。

2019年5月28日編集委員会制定

投稿規程

1. 機関誌への投稿内容は、未発表のもの、刊行予定でないもの、および他学会誌等に掲載予定でないものに限る。ただし、口頭で発表し、これを初めて論文にまとめたものは未公開と見なす。
2. 論文原稿は、原則として横書き、A4版用紙1頁あたり横36字、縦36行、上下余白各30mm、左右余白各30mmとし、本文の他、タイトル、注記、図表、参考文献等を含めて14枚程度とする。10.5ポイント、MS明朝体（英数字はSeqoe UI）、「、」「。」で作成する。
3. 論文投稿の締め切りは、原則として10月末日とする。
4. 原稿は電子媒体（Word形式等データ）を編集委員会宛に電子メールにて添付ファイルとして送付する。
5. 原稿の末尾には、原稿の英文タイトル、氏名（ふりがな、欧文表記）、所属・職名を明記すること。
6. 論文原稿の題目の次に、1行おいてから400字程度の要旨と8項目以内のキーワードをつけること。

7. 本誌に掲載の記事の著作権は本研究科に帰属する。ただし著作者自身が自己の著作物を利用する場合には、本研究科の許諾を必要としない。

2019 年 5 月 28 日編集委員会制定

2019 年 11 月 17 日改訂

査読規程

ここに国土館大学大学院人文科学研究科『国土館人文科学論集』編集規程に基づく原稿の査読について、実施上必要な事項を定める。

1. 査読者の選定

編集委員会が原稿ごとに査読者を決定する。

2. 掲載可否の決定

(1)査読は2名の査読者によって行われる。

(2)査読者は、「掲載可」、「条件付掲載可（修正の上、再査読の結果により改めて可否を決定）」または「掲載不可（大幅な修正を必要とする等のため）」を判断し、報告書を作成して編集委員会に提出する。なお編集委員会は、査読結果に基づき、投稿者の同意を得て他の論文の種類として掲載することができる。

(3)投稿論文原稿についての採否は、編集委員会の総意により決定する。編集委員会の依頼による論文原稿についても投稿論文と同じように扱う場合がある。いずれの場合も、必要に応じて編集委員会から投稿者に原稿の修正を求めることができる。

2019 年 5 月 28 日編集委員会制定

第6号編集委員

小野瀬倫也（国土館大学文学部教授・委員長）

久保田裕次（国土館大学文学部准教授・副委員長）

松野 敏之（国土館大学文学部教授）

松野 彩（国土館大学文学部准教授）

桜井 美加（国土館大学文学部教授）

菱刈 晃夫（国土館大学文学部教授）

内田 順文（国土館大学文学部教授）

夏目 琢史（国土館大学文学部准教授）

執筆者紹介（掲載順）

吉岡 正憲（国土館大学大学院人文科学研究科博士3年）
張 潮宇（国土館大学大学院人文科学研究科博士3年）
野津 悌（国土館大学文学部教授）
菱刈 晃夫（国土館大学文学部教授）
張 琢月（国土館大学大学院人文科学研究科博士2年）
石野 裕子（国土館大学文学部教授）
桜井 美加（国土館大学文学部教授）
仁藤 智子（国土館大学文学部教授）
助川 晃洋（国土館大学文学部教授）
今井 智史（国土館大学大学院人文科学研究科修士1年）
鈴木健太郎（国土館大学大学院人文科学研究科修士2年）
相磯詩音乃（国土館大学大学院人文科学研究科修士1年）

編集後記

2024年、日本列島は地震や風水害などに見舞われました。自然災害の多い日本列島とはいえ、能登半島では1年の間に2度の甚大な災害に見舞われました。被災された方々、関係者の方々の精神的負荷は想像しがたいものでした。災害に遭われたすべての方々にお見舞い申し上げます。日本で生活する我々が、文化を継承したり、発展させたりしていくことの難しさを改めて感じました。

さて、本年も『国土館人文科学論集』第6号をお届けいたします。本論集は、教員および院生による幅広い研究成果、教育実績を発信することを目的としております。今回も多くの方々に御協力いただきました。査読を行なってくださった先生方、英文題目校正では、ベバリ・ヘニング元政経学部教授にお世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。人文科学研究科における多様な学びが、災害に備え発災時に対応する力、言い換えれば「生きてはたらく力」の育成に少しでもつながることを願うばかりです。

（小野瀬倫也 記）

国土館人文科学論集 第6号

令和7年2月28日発行

編集・発行

国土館大学大学院人文科学研究科編集委員会

代表者 小野瀬倫也

〒154-8515

東京都世田谷区世田谷 4-28-1